

第4回 豊山町総合計画審議会議事録【公開用】

1 開催日時 令和元年8月8日(木)午後2時～午後3時40分

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1

3 出席者

(1) 豊山町総合計画審議会委員

委員 中部大学工学部 教授	豊田 洋一
名古屋大学未来社会創造機構 特任助教	井上 愛子
愛知学泉大学現代マネジメント学部 教授	堀田 裕子
文化協会 会長	安藤 敏夫
社会福祉協議会	池山 和徳
交通安全協会 副会長	伊藤 邁
老人クラブ連合会 会長	江崎 弘
J A尾張中央豊場支店 豊場支店長	櫛田 和裕
子ども会連絡協議会 会長	鈴木 育生
消費生活研究グループみのり会 会長	鈴木 征美
防犯協会 会長	高栗 峯夫
公益社団法人豊山町シルバー人材センター 会長	寺町 逸視
体育協会 会長	戸田 久晶
とよやま女性の会 会長	中村 百合子
豊山町商工会 会長	山田 敏文
公募	竹内 智恵子
公募	渡邊 勝利
三菱重工業株式会社 渉外担当課長	小形 浩
セントライ青果株式会社 代表取締役社長	小坂 芳則

(2) 事務局

副町長	鈴木 邦尚
理事	伊井 誠
総務部長	小川 徹也
総務課長	鈴木 雅之
総務課 財政・管財係長	中川 徹
総務課 企画・情報係 主査	牧野 礼男

(3) オブザーバー

ランドブレイン株式会社名古屋事務所	伊藤 克洋
ランドブレイン株式会社名古屋事務所	那須 史尋

(4) 傍聴者

3名

4 欠席者

J A西春日井青山支店 支店長	半谷 国大
-----------------	-------

5 議題

(1) 第5次総合計画基本構想案について

6 会議資料

- ・豊山町第5次総合計画基本構想案
- ・第5次総合計画基本構想パブリックコメントにつきまして
- ・参考 本日の審議会の位置づけ

議事内容

(1) 会長あいさつ

【課長】 定刻となったので、第4回豊山町総合計画審議会を開始する。会議次第に沿って進行する。はじめに会長に挨拶をお願いしたい。

【会長】 暑い中お集まりいただき感謝する。本日は4回目ということで、これまでの振り返りをする。

1回目は立ち上げということで委員の紹介とこの回の目的の確認、2回目は総合計画を策定するに当たっての調査の確認をして現状の問題の共有、3回目は現状の課題を踏まえて今後10年の基本構想の大きな枠組みをどうするのかということ項目ごとに議論してきた。

今回は4回目ということで、具体的な項目が計画として入ったので、それらの内容を確認し、今回の会議を基に今後パブリックコメントを実施する。そこから更に意見をいただいた上で基本構想を確定させていく流れとなる。基本構想では耳ざわりのよい言葉が多くなっているが、その言葉で町の将来を整理していくことが今後の10年には大事になっていくため、皆さんからの活発なご意見をお願いしたい。

【課長】 資料については、事前に送付させていただいている。お持ちでない方は申し出ていただきたい。

今回から審議会のメンバーが変更となっている。社会福祉協議会の会長の変更に伴い、井上博司委員から池山和徳委員に変更となっている。

ご挨拶をお願いしたい。

【池山委員】 6月27日に社会福祉協議会の会長に就任した。古巣の豊山町に恩返しできる機会を嬉しく思っている。皆様方からのご指導をお願いしたい。

【会長】 前委員の井上委員は職務代理者でもあったので、職務代理者を受けていただけるか。

【池山委員】 喜んでお受けする。

【課長】 本日の出席委員は20名中19名であり、半数以上の出席であるので、町総合計画審議会規則第4条第2項の規定に基づき成立していることを報告する。

(2) 第5次総合計画基本構想案について

【会長】 お手元に配布してある次第に従い進行する。第5次総合計画基本構想案について、事務局より説明をお願いしたい。

【主査】 豊山町第5次総合計画基本構想案を説明。

【会長】 本日の審議を受けて、了解を得られればパブリックコメントが実施されることになる。ただいまの事務局からの報告に対して、14ページまででご意見・ご質問があればお願いしたい。

【会長】 12ページのグラフで4つの象限に分けられており、今は満足度指数を平均値で象限区分しているが、これが一般的な考えとして良いのか。

平均値で分けている部分は、相対的な評価になると思われる。ゼロを境にして、満足・不満足という区分でも良いかと思う。

【主査】 どこを基準にするかは様々な考えがある。重点課題は、当然重点的に取り組むが、継続推進についても軽視するということではない。まずは重点課題に置いているものを主に取り組みたいと考えている。平均値で区分することで重点的に取り組む項目をよりはっきりとさせている。一般的でないことはない。

【会長】 左にあるものは満足度が低く、上にあるものは重要度が高いというこ

とになる。ただ破線の位置が少し気になる。

【理事】 会長のご指摘の通りだと思う。この破線を無いものとして見ると、ゼロの部分で考えるのもありだと思うが、軸を示すことで、A・B・C・Dの各象限が際立って見えるような表現がされている。

【会長】 15・16 ページからは見開きとなっているが、この部分についてご意見・ご質問があればお願いしたい。

【A委員】 パブリックコメントの時も同じ資料が示されるのか。

【主査】 同じ資料が出ることになる。審議会の議事録はホームページで公表している。

【A委員】 印象だが、この先10年を考えるために審議してきたが、資料の説明が少ないと感じている。

【主査】 住民の方に向けては、小学校区ごとに住民説明会を実施する予定となっている。

【A委員】 本日の議論でももう少し説明が必要かと感じている。短い説明の中で全てを理解するのは難しく、質問をすることができない。

【会長】 本日の資料は事前にお送りしているものとなる。前回資料と比較していただくと、修正箇所を確認いただける。言葉の表現の違いや、イラストについては、前回までの指摘を受けて事務局が修正している。

ただ、基本構想は漠然としたものとなる。今後の基本計画で具体的な取組が検討されていく。基本計画というのは基本構想を更に具体的にしたものなので、今後具体的な内容を審議する機会はある。今の段階では耳ざわりの良い言葉が並んでいるが、委員の方に目を通していただいて各ページに区切ってご意見をいただきたい。中身についてはまだ具体性に乏しいので、基本構想というレベルで見えていただきたい。

【B委員】 14ページの協働・行財政の課題8で「安定的な財源の確保」とあるが、財源の確保は全ての大前提となる。10年計画の中でどのように考えていくのか。

【主査】 課題として、今後も引続き財源を確保するように努めるという方針とさせていただいた。今後の基本計画についても、安定的な財源の確保ができるような具体的な策を盛り込みたいと考えている。

【B委員】 町民としては、税金ではなく、国からの補助金等で賄っていただけるとありがたいと思う。

【 C 委員 】 課題1から4は重みづけがされているという認識で良いか。それとも全て同等の重みということか。

【 主 査 】 課題の重みは同じ扱いとして記載している。

【 会 長 】 17 ページ以降の確認をしていただきたい。今回は項目だけだったが、今回は具体的な目標等も追加されている。まちづくりのイメージが描かれており、ご意見・ご質問等があればお願いしたい。

それぞれの項目について目指すものが書かれていて、目指すべきイメージを3つずつ整理している。それぞれが町のイメージとなっている。

【 D 委員 】 豊場に住んでいるが、エリアによって多少差があると感じている。豊場と青山の差を埋めることについてはどう考えているか。公共交通等については、この場で質問をしても良いのか。

【 会 長 】 この部分は町全体のイメージなるため、地区別は基本計画で議論する。

【 主 査 】 将来像にもあるように、どこに住んでいる人にも住みやすい町を目指しているので、基本計画でもそういった点を意識して作っていかうと考えている。

【 E 委員 】 先ほどのグラフの、重要度が高く満足度が低いもので「防犯・交通安全体制の強化・意識の高揚」があるが、まちづくり重点目標に、子育てのしやすい環境や安心・安全というキーワードが出てきても良いと思う。基本的な意識として町民にはあると思うので、記載されても良いかと思う。

【 主 査 】 重点課題として、防犯は大切ではあり、分野別の基本目標として掲げている。まちづくり重点目標としては、「暮らし」のキラリの部分が該当すると考えており、それらを踏まえて分野別の目標で策定していきたいと考えている。

【 会 長 】 まちづくり重点目標がキラリに引っ張られている印象がある。安心・安全、防犯は基本目標の中で掲げられている。キラリという言葉からキラキラしたようなまちづくりをしたいという思いが読み取れるので、そこを重点目標として基本的な項目は基本目標で抑えていくという組み立てになっている。

【 E 委員 】 今の説明いただいた部分を住民説明会でも補足していただければと思う。まず町として、上を向いて進めていくためのキラリの部分の説明があり、基本目標の中で安心・安全や防犯にも取り組んでいくという説明

があれば分かりやすいと思う。

【主査】 17 ページに安全・安心や防犯の項目がある。書き込むとなると「暮らし」がキラリと輝くまちの中の、「穏やかに暮らす」という部分に含まれるとも考えられるので、こちらから読み取っていただけると良いかと思う。

【会長】 キラリと言っている割には、キラリという印象はない感じがする。「穏やかに暮らす」もキラリのイメージはない。キラリをまちづくり重点目標として掲げているので、キラリを全面に出した表現・説明をしても良いと思う。片手落ちでもいいので、キラリを目指すということをもっと押し出してほしい。そこでカバーしきれない部分を7つの基本目標でカバーすれば良い。

この部分は前回計画から踏襲しているのか。

【主査】 「暮らし」がキラリと輝くまちでは、住みやすさを高めるのを目標にしているが、町民が住みよさを感じてもらえるまちにしたい。その点で他の市町に負けないような暮らしやすさを作っていくという点で、キラリと表現している。

【会長】 キラリを言い換えると「いきいき」のような表現ができるとも思う。

【会長】 19 ページの部分で基本理念・基本施策を記載している。項目については前回も議論をしている。この構成について、ご意見・ご質問があればお願いしたい。

【F委員】 19・20 ページでまとめられているが、「安定した財源の確保」や「選択と集中」のような考え方もある。パブリックコメントでは優先度に関する意見も考慮することになるのか。

【主査】 パブリックコメントは基本構想案について意見公募する予定になっており、大きなまちづくりの指針に関して説明をする。財源というお話があったが、具体的な予算付けとなると、基本計画よりも更に詳細な計画である実施計画で決めていくことになる。

【F委員】 パブリックコメントでは、25 ページ全てを記載すると思うが、ヒアリングした中で、重点的な取組を確認するのか。

【副町長】 今回はあくまでも基本構想の説明となる。どこに重点的に力を入れるかは個々の具体的な計画があって、財源の問題もあるがもう少し細かい作業にならないと、どこに重点を置くのかは決められず、実施計画にな

らないと判断はできない。

【 会 長 】 私の解釈としては、まちづくりの重点目標で、キラリという言葉がある以上は、キラリとした暮らしや産業を中心にするべきである。キラリとしたことをするための大きな方向性を示すものである。キラリというキーワードをもとに、町として目指す指針がはっきりする。耳ざわりの良い総花的な言葉が並んでいるだけでは意味がないので、指針としてはっきりさせた上で、一丸となって目標達成に動くべきだと考えている。

【 A 委員 】 今の意見には同感している。最初にまくしたてるだけの説明では理解に乏しく、細かいことまで1つずつやっついていかないといけないと思う。キラリというイメージがあり、重要なものが出てきてはいるが、実行できる言葉になっているようには感じない。時間に限りはあるが、もっと1つずつ議論をするべきではないかと思う。

【 会 長 】 目標3で「住民の皆様とともに」の表現に違和感がある。「町民」と「住民」の使い分けについても整理していただきたい。また目標4の「福祉文化のまち」のというのはどのようなことを示しているのか。

【 主 査 】 「住民の皆様とともに」の表現については、表現の見直しを検討させていただく。「町民」と「住民」も表現の整理をする。「町民」は企業やお店を含めた事業者や団体、「住民」は実際に住んでいる方として使い分けている。「福祉文化のまち」についても、再度確認後、整理させていただく。

【 会 長 】 「福祉文化のまち」は、福祉の意識が醸成されているまちという捉え方をしている。

【 G 委員 】 目標6の産業で「雇用・勤労者福祉」が前回までの基本施策に入っていたが、今回から「雇用・勤労者福祉」がなくなっている。なくなっている理由を教えていただきたい。

【 主 査 】 前回までは目標6の基本施策で「雇用・勤労者福祉」は掲げていたが、庁内での議論の中で、「商工業」に統合する方向となった。

【 G 委員 】 前回と比較して確認される方がいるため、説明は必要だと思う。

【 会 長 】 21・22 ページのまちづくりの重点目標について、ご意見・ご質問をお願いしたい。

【 F 委員 】 産業の住民評価について、第4次総合計画では製造品出荷額等を目標にしていたが、変更した理由はあるのか。また、豊山町に住んでよかつ

たという人が増えてきつつある中で、地元型の人々が現在のどの程度いて、どのくらいまで増やしたいのかという目標値を設定すると、豊山町に住んでよかったのかどうかはわかるので、指標に検討いただきたい。

【副町長】 どのような数値を定めるかを検討する上で、行政経営の中で反映できるものとして、定点的な調査を行って推移を追うという方向になった。客観的なデータは国勢調査で5年に1回、政府の産業統計で3年に1回しか数値を追えない。数値は毎年追っていきたいので、住民アンケートで把握できる内容を目標値としている。

【F委員】 地元型の住民が増えているかについてはどうか。

【副町長】 地元で働いていることを統計データで把握することは難しいと考えている。

【G委員】 「人」がキラリと輝くまちの指標としては、現在の指標が直結しているかどうか疑問だが、これくらいしか適当な指標がないのか。

【主査】 「人」がキラリと輝くまちの指標に関しては、この数値が適当だと判断している。町政に関心を持っていることや、まちづくり活動の参加意欲等で協働のまちづくりが進むと考えている。協働のまちづくりが進むと、まちづくりに参加いただいた方にも自己実現の機会が得られ、それによりサービスを受ける町民の満足度が増す。結果的に豊山町がよくなっていく。それぞれの人が満足して生活を送れることになるので、この数値を掲げている。

【G委員】 敢えて曲がった言い方をすると、町に不満があるから町政に興味を持つという方もいる。町政では不十分だからまちづくりに興味を持つ方もいると思うので、この指標は協働や目標に直結しない場合もあると考えている。

【主査】 ご指摘いただいた通り、町民に不満がある方がまちづくりに興味があると回答した場合も考えられるが、そのあたりについては、住みやすいと評価する住民の割合を増やしていくことで、カバーしてまいりたい。

【G委員】 「暮らし」の指標が上がっていれば、町政やまちづくりに関心があるのは、悪い意味ではないと判断できるということが良いか。

【主査】 その認識で良いと考えている。

【会長】 指標の数値自体がこれで良いかと思う部分もある。この数値は前回の総合計画から達成できなかった数値だということで、前回下がった原因

を特定して目指す姿で進めるべきだと考える。原因がはっきりしないうちに、前回と同じ数値を目標にするのはどうかとも考えたが、町としては今回こそは達成するという意思の表れとなっている。

【 A 委員 】 町民意向調査は町が作成するのか。

【 主 査 】 町が作成する。

【 会 長 】 次に 23・24 ページについて、ご意見・ご質問をお願いしたい。

【 B 委員 】 土地利用構想図について、詳細に線引きがされているが、先端産業振興拠点、神明地区含めて小牧市の境まで設定されている。これは大雑把に示しているのか、それとも意図して調整区域まで拠点として位置付けているのか。

【 副 町 長 】 別途定めている都市計画マスタープランや現在の第 4 次総合計画でも神明地区を含めて小牧市の境まで先端産業振興地区として位置付けており、今回変更するものではない。

【 F 委員 】 基本方針の 1 から 3 についてだが、前回の計画は名古屋空港周辺だったが、今回は神明公園や大山川の部分も記載している。高齢の方も増えて、ランニングや散歩をしている方も増加して、この辺りは非常に危険になっている。一方で小牧に抜ける道路は混雑がひどい。ここを水辺空間として確保するのであれば、新たな道路を作っていくことも必要だと感じる。都市計画マスタープランでも考慮いただきたい。

【 副 町 長 】 1 つのご意見として承る。

【 会 長 】 25 ページの部分について、ご意見・ご質問があればお願いしたい。

【 各 委員 】 (意見なし)

【 会 長 】 全体を通して、ご意見・ご質問があればお願いしたい。

【 D 委員 】 総合計画は取扱い説明書のようなイメージで考えており、町民が見ても分かりにくいと感じる。これを進めていけば、町が合併を考えているのかが分かるように表現されていくのか。

【 副 町 長 】 どのような町をつくるのかというものが総合計画である。合併等の要素については、本計画では説明をするものではない。

【 H 委員 】 21 ページの人口について、平均世帯人数が今後 2.0 を切る想定になる。子ども増やす計画・取組はないのか。この資料を見る限り、住んでいる人が住みやすい町になる計画となっているが、今後の人口減少を考えるとそういった観点の目標も必要になるのではないのか。

【主査】 17 ページに「人」がキラリと輝く町の「安心して子供を産み、育てられる子育てしやすい環境が整い、子どもたちが基礎学力を身に着けながら心豊かに健やかに育ち、町に子どもたちの元気な声と笑顔があふれています」という重点目標を踏まえ、19 ページの基本目標4で、子育て支援として子育てに優しいまちを目指していくという施策として位置付けている。

【会長】 どの市町も若い世代に住んでもらいたいという施策は行っている。近隣の小牧市や春日井市でも施策として実施している。

【H委員】 平均世帯人数が少なくなっているのは、全国的な傾向か。

【会長】 全国的な傾向である。

【会長】 事務局側で本日いただいた意見をもとに修正を検討させていただき、パブリックコメントを実施する。修正内容は事務局に一任いただきたいが、問題ないか。

【各委員】 (問題なし)

(3) その他

【主査】 パブリックコメントについては、予定として9月17日火曜日から10月1日まで行う予定となっている。また、地域懇談会を小学校区ごとに開催する予定であり、都合がつく方は、他の人も誘って参加いただければと思う。

次回の審議会の日程は、10月15日火曜日午前10時からを予定している。

本日の議事録の公開は前回同様、作成後に委員の皆さんに送付した後、委員の名前を伏せた上でホームページに公開する。

【I委員】 パブリックコメントの案内はどのようにして、どのように集めるのか。

【主査】 パブリックコメント、地域懇談会共にホームページ等で公開し、地区委員にも通知をしようと考えている。

【課長】 以上をもって、第4回総合計画審議会を終了させていただく。

以上